

2025 年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会 技術部

2025 年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2026 年 7 月 10 日（金）に Microsoft Teams を用いた Web 会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者 21 名、委託関係者 14 名

ほか、計 47 名の参集を得て、除草剤 2 薬剤（4 点）、生育調節剤 3 薬剤（9 点）について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果については、次の表に示す通りである。

2025 年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験 判定結果

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. BCH-257 フロアブル 新規化合物:49.6% [バイエルクロップサイ エンス]	タマネギ	発生前の一年生雑草を対象としたタ マネギ定植後の土壌処理(全面)による 作用性の検討	—	(作用性)

B. 2025 年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. BCH-252 顆粒水和 メトリブジン:75% [バイエルクロップサイ エンス]	アスパラ ガス	一年生雑草を対象としたアスパラガ ス萌芽前～萌芽始期での土壌処理(全 面)による適用性の検討(東北以南)	継	・効果・葉害の確認
	アスパラ ガス	一年生雑草を対象としたアスパラガ ス収穫打切り後での茎葉兼土壌処理 (全面)による作用性の検討(北海道)		
	アスパラ ガス	一年生雑草を対象としたアスパラガ ス収穫打切り後での茎葉兼土壌処理(全 面)による適用性の検討(東北以南)		

C. 2025 年度 春夏作分 野菜関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. BA 液 ベンジルアミノプリ ン:3.0% [クミアイ化学工業]	アスパラ ガス	アスパラガスにおける立茎5～6週間 後の茎葉散布による萌芽促進効果の 検討	実・継	実) [露地・施設普通;萌芽促進効果による増収効果] ・慣行最終収穫予定日10～30日前 ・300倍<100～200L>/10a ・茎葉散布 [施設半促成長期どり;萌芽促進効果] ・立茎開始7～8週間後 ・600倍<200L>/10a ・茎葉散布
	アスパラ ガス	アスパラガスにおける立茎7～8週間 後の茎葉散布による萌芽促進効果の 検討		注) ・若茎にかかると奇形になる場合がある。 ・翌春の収量が減ることがある 継) ・効果・葉害の確認 (立茎開始5～6週間後処理,萌芽促進効果) ・効果・葉害の年次変動の確認 (立茎開始7～8週間後,萌芽促進効果,九州地域 を除く)

C. 2025 年度 春夏作分 野菜関係 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
2. KUH-833F(L) フロアブル プロヘキサジオンカルシウム塩:1% [クミアイ化学工業]	イチゴ (促成栽培)	イチゴにおける定植14日前の茎葉散布による徒長抑制効果の検討(処理時期拡大)	実・継	実) [促成栽培;育苗時の伸長抑制] ・定植前30～50日前後 ・300～400倍<5mL/株>, 500倍<5～10mL/株> ・茎葉処理 [促成栽培;低温暗黒処理における徒長防止効果] ・低温暗黒処理7日前～当日 ・200～500倍<5～10mL/株> ・茎葉処理 注) ・定植後の生育が緩慢な地域では、水量10mL/株は減収する場合がある。 [促成栽培;生育後期の伸長抑制] ・葉柄徒長期 1～3回処理 ・400～600倍<10～25mL/株> ・茎葉処理 注) ・抑制の程度に応じて散布回数を調節する。 ・2～3回散布するときは、1ヶ月程度間隔をあける。 継) ・水量と効果、葉害の確認(定植前30～50日前後) ・効果・葉害の確認(定植14日前)
3. S-327D 液 ウニコナゾールP:0.025% [住友化学]	ブロッコリー	ブロッコリーにおける播種後出芽前の土壌灌注による育苗期の伸長抑制効果の検討(適用性3年目)	実・継	実) [育苗期の伸長抑制効果] ・子葉展開期～本葉2葉期 ・1000倍<100mL/セルトレイ>, 250倍<50mL/セルトレイ> ・茎葉散布 注) ・高薬量では生育が遅れる場合がある 継) ・効果・葉害の確認(播種後出芽前) ・効果・葉害の確認(定植前, 1000倍<50mL/セルトレイ>, 250倍<100mL/セルトレイ>)
	ブロッコリー	ブロッコリーにおける定植前の茎葉散布による育苗期の伸長抑制効果の検討(適用性3年目)		

D. 2025 年度 春夏作分 花き関係 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 フルルプリミドール:50.0% [ニチノー緑化]	イチヨウ	イチヨウにおける樹幹注入処理による新梢伸長抑制効果の検討	—	(試験中)
	モチノキ	モチノキにおける樹幹注入処理による新梢伸長抑制効果の検討	—	(試験中)